

グローバルリーダー教育プログラム (GLEP) 海外インターンシップ派遣者募集！

派遣国：アメリカ（シアトル）、オーストラリア（パース）、フランス（パリ）、中国（広州/蘇州）

派遣人数：アメリカ2名、オーストラリア2名、フランス2名、中国2名（予定）

派遣対象者：平成31年4月1日時点で2年生以上のGLEP生（GLEPインターンシップ未経験者）で、
所定の科目を修了していること

派遣時期：令和2年春休み3～6週間程度

説明会：令和元年5月16日（木）昼休み@姫路環境人間キャンパス（工学部と遠隔で繋ぐ）、17日（金）昼休み@神戸商科キャンパス（理学部と遠隔で繋ぐ）、21日（火）昼休み@明石看護キャンパス

報告会：令和元年5月25日（土）@姫路工学キャンパスA102、6月1日（土）@淡水サロンで
昨年度インターンシップ参加学生による報告会を実施

募集期間：令和元年6月10日（月）9時～6月20日（木）17時

提出書類：①申込書 ②企画書

提出先：global@ofc.u-hyogo.ac.jpへメール添付で提出

選考期間：令和元年6月21日（金）～7月5日（金）

選考方法：申込書・企画書内容やGU科目成績、語学力、海外インターンシップ適性等を考慮し、
書類審査及び面接で選抜

派遣者発表：令和元年7月8日（月）（予定）

注意事項

- 以下のグローバル教育ユニット科目を修了していること
GLEP4年生：「グローバル教養概論」（理学部IVクラスの場合「グローバル教養実践」）「英語表現」
GLEP2-3年生：「グローバル教養概論」「英語実習」「英語表現」
- インターンシップは無給。大学が8万円／人を助成。
- 1か月の本人負担費用の目安は、中国が約10万円、アメリカ・オーストラリアが約25万円、フランスが約35万円（航空券、宿泊、食費、生活費、通勤交通費等。ただし中国は宿泊費無料の予定）。



問い合わせ先：兵庫県立大学 国際交流機構（GLEP）
078-794-6617/6652 / global@ofc.u-hyogo.ac.jp

裏面へ続く→

<研修例>

アメリカ

- (1) 兵庫県ワシントン州事務所＋教育機関でインターンシップ（事務所が教育機関を紹介予定）
事務所では、日本紹介イベントや事務所主催講演会の準備、電話対応、資料の英訳補助など。教育機関では、小中学校や現地高校で日本文化紹介、採点、出席確認、宿題チェック、日本語教育補助など。
- (2) 兵庫県ワシントン州事務所＋福祉施設でインターンシップ（事務所が福祉施設を紹介予定）
福祉施設の場合、日系老人介護施設で高齢者の介助や生活補助など。
- (3) 自主企画のインターンシップ

オーストラリア

- (1) 西オーストラリア州兵庫文化交流センター
日本祭への出展準備、センター主催の日本語講座の補助、センターの掲示板コンテンツ作成、現地教育機関での日本文化紹介など。
- (2) 自主企画のインターンシップ

中国

- (1) 暨南大学外国語学院日本語学科で日本語アシスタント＋英語授業聴講
日本語学科学生の日本語指導補助や会話指導。英語での大学講義聴講も可能。中国語能力必要なし。
- (2) 暨南大学華文学院日本語クラブで日本語アシスタント＋中国語語学授業受講（調整中）
日本語クラブで日本語指導補助。華文学院の中国語語学研修の受講が可能。中国語能力必要なし。英語を使用した日本紹介授業の可能性あり。
- (3) 蘇州大学文正学院での大学業務インターンシップもしくは日本語指導補助（調整中）
- (4) 自主企画のインターンシップ

フランス

- (1) 自主企画のインターンシップ

<派遣への準備>

- (1) どの国でどのようなインターンを行いたいかを考え、調べる。
- (2) 自分でインターン先を見つける場合は、現地企業や団体等を探し、直接交渉する。ただし、派遣国はアメリカ・オーストラリア・中国・フランスに限る。
- (3) 申請書を作成する。
上記研修例の中から、どのパターンで応募したいかを明記する。自主企画のインターンの場合は、希望する具体的な分野や現地企業や団体等との交渉状況等を記入する（受入れ先が決定していなくてもよい）。事務所や教育施設、福祉施設等でのインターンを希望する場合は、どのような方法や姿勢で実施したいかを具体的に記載する。
- (4) 派遣決定後
GLEP 事務局とともに、具体的なインターン先やインターン内容、日程を詰める。航空券や保険等の手続きは事務局と相談しながら自分で手続きを行う。